

質問・質疑

市政の「こころ」を問う

この定例会では、3月1日・2日・3日の3日間、18名が登壇し、43項目にわたり質問・質疑が行われました。一人一項目を要約し、掲載します。

質問・質疑項目(発言順)

※印が掲載した項目です。

- 新海 真規 議員
 - 1 福祉避難所について ※2 交差点の音響について
 - 3 ヨット ボートなどの不法係留について
- 蜂須賀 信明 議員
 - 1 平成23年度予算について 2 教育行政方針について
 - 3 市長の政治姿勢について
- 山内 智彦 議員
 - 1 平成23年度重点課題について
- 塚本 孝明 議員
 - 1 名鉄富士松駅前周辺整備について
 - 2 刈谷市公共施設連絡バスについて
- 野中 ひろみ 議員
 - 1 平成23年度当初予算案について
 - 2 投票所入場券について
 - 3 高齢者保健福祉について
- 安部 周一 議員
 - 1 刈谷市の将来構想について
- 白土 美恵子 議員
 - 1 平成23年度当初予算案について
 - 2 支え合う地域社会づくりについて
- 神谷 昌宏 議員
 - 1 JR逢妻駅へのエレベーター設置について
 - 2 中学卒業までのインフルエンザ予防接種補助について
 - 3 保育園への入園(待機児童ゼロ)への取り組みについて
- 森田 健資 議員
 - 1 学力向上、体力向上と学校図書館、中央図書館の充実について
 - 2 無縁社会について ※2 エコ通勤の奨励について
- 前田 秀文 議員
 - 1 農業政策について
 - 2 経済対策について
 - 3 多文化共生について
- 星野 雅春 議員
 - 1 市長の政治姿勢について
 - 2 平成23年度予算案について
 - 3 市政運営について
- 清水 行男 議員
 - 1 行政改革について 2 英語教育の拡充について
 - 2 山本シモ子 議員
 - 1 市長の政治姿勢について 2 教育行政方針について
 - 大長 雅美 議員
 - 1 都市交通計画について 2 新橋(平成大橋と衣浦大橋の間)の建設について
 - 2 自転車の安全通行について
 - 3 T.F.T(テール・フォー・ツー)活動について
 - 4 犬飼博樹 議員
 - 1 刈谷市の道路計画について
 - 4 野村武文 議員
 - 1 子ども施策の充実について
 - 2 医療にかかる負担軽減について
 - 3 高齢者福祉の充実について
 - 4 ウェーブスタジアム刈谷の屋根材料の真偽について
 - 5 応分の負担を求める税制改正について
 - 壁谷 信洋 議員
 - 1 歴史博物館建設事業について
 - 2 「はやぶさ」帰還カプセル特別公開事業について

質問・質疑のすべての質問・答弁が映像でホームページからご覧になれます
刈谷市議会ホームページ：<http://www.city.kariya.lg.jp/gikai/>
「会議録検索システム・議会映像」のページからご覧ください

新海 真規 議員(一問一答方式) 健全者の常識は障害者にとつての非常識 —障害者の声を聞き施策に反映—

問 視覚障害者用付加装置付き信号機(以下、音響付信号機)が障害者に有効であることは理解していると思うが、その普及が進まない理由はないか。

答 設置が進まない要因としては、設置要望が少ないことや、近くに民家があると騒音の苦情がでること、また設置する費用が通常の信号機とくらべ2倍ほどかかることだと聞いている。

問 視覚障害者が安心して渡ることができる音響付信号機への理解が不十分であると感ずる。また、視覚障害者の方が歩車分離式信号交差点を渡る際に危険を感じていることなど、健全者には思いもよらないバリアが存在していると思われる。

答 視覚障害者の方たちがどんな不便や危険を感じているのか声を聞く機会が必要ではないか。

問 視覚障害者やその関係者が集まる機会に、歩車分離式信号交差点の設置状況を伝えるとともに、音響付信号機の設置要望を吸い上げ、刈谷警察署を通じ、公安委員会へ要望していく。



音響付信号機の普及を

蜂須賀 信明 議員(一問一答方式) 広域連携施策を推進する理由 —圏域の住民の生活における利便性、地域の魅力を向上—

問 今定例会において定住自立圏の形成に関する協定を締結する議案が提出されているが、協定の締結までの経緯はどうであったか。

答 近隣の自治体は財政基盤もしつかりしており、中心市に頼る必要はないが、この地域の利便性向上や地域の魅力、郷土への愛着などを高めることを目的とし、近隣市町の意向を確認しながら中心市宣言を行った。

また、連携する知立市、高浜市、東浦町とも対等・協力という

山内 智彦 議員(一問一答方式)
各部門の重点課題の設定根拠と推進の意気込みを確認
—各部門から重点施策を説明—

問 市長の方針が各部門にどう受け継がれ、部門長の思いを限られた予算の中、どう事業に

反映させるかが重要であるが、各部署における重点施策は何か。

答 市民活動部では、外国人

住民が地域社会の構成員として安心して暮らせるよう国際化多文化共生推進計画を策定。次世代育成部では、中央子育て支援センターを中心に、子育ての不安解消や集団療育の環境を整備するほか、待機児童の解消に努める。都市整備部では、市街地拡大のほか、歴史文化の拠点として亀城公園を再整備する。

問 それらの実現にはどのような課題があるか。

答 多文化共生における担い手の人材育成と、新設する(仮称)国際センターの事業展開等の検討。待機児童における乳児枠拡大や、幼稚園の預かり保育に就労支援を加えることなどがある。また、亀城公園整備においても市民に親しまれる公園とするためイベント連携などPRが必要である。

塚本 孝明 議員(一括質問一括答弁方式)
安心・安全・快適に利用できる名鉄富士松駅に
—地域発展のために更なる周辺整備を望む—

問 今川交番の移転先が富士松駅周辺に決定したが、その後の進捗状況はどうか。

答 県の新年度の建設工事に合わせ、6月末までに富士松駅前トイレ横の整地工事を行う。

問 歩車分離がされていない富士松駅南側踏切の拡幅工事の概要はどのようなものか。

答 北側に3.5mの歩道を設置し、車道と歩道を合わせて9.5mの道路を約40mの区間に整備する。平成24年度から拡幅工事に着手する予定である。

問 駅利用者が線路西側に出られるように駅舎の増築と、駅西駐輪場の設置を要望しているがどのような状況であるか。

答 線路西側に改札口を増設する。

野中 ひろみ 議員(一問一答方式)
投票所入場券に期日前宣誓書の印刷を
—入場券裏面に宣誓書を印刷し期日前投票の便宜を図っていく—

問 期日前投票は、投票日に仕事等で投票に行けない方が利用するが、その利用者数と投票率はどのくらいか。

答 刈谷市の有権者数約11万2千、期日前投票は約1万5千人、2万人で15%、20%である。

問 期日前投票は、実施場所に行ってから宣誓書を記入し、

印刷し、事前に記入してこられ



交番の設置予定場所

るようになれば、投票所での負担や混雑の軽減になる。刈谷市においても実施すべきと考えるかどうか。

安部 周一 議員（一問一答方式）
定住自立圏構想に見る刈谷市の将来像
 — 知立市、高浜市、東浦町を始め近隣市と連携していく —

問 今年2月に総務省から同

問 新たに組み込む定住自立圏構想と既存の衣浦東部広域行政圏施策との相違は何か。

答 衣浦東部広域行政圏施策は構成する自治体全てが合意する項目について連携などを図る仕組みだが、定住自立圏構想は関係自治体のみで合意で施策の連携を進めることが可能である。

問 定住自立圏構想の協定先として東浦町を選定した理由は。

答 住民の生活圏の1つの目安となる通勤通学割合が10%以上であり、住宅などの取得によ

白土 美恵子 議員（一問一答方式）
待機児童解消に向けた取り組み
 — 幼稚園の預かり保育の利用条件に就労を加えることを検討 —

問 待機児童を解消するため今までのような対策をとってきたのか。

答 既存保育園の増築、おがきえ保育園の建設、あおば保育園の移転による定員の増加のほか、乳児の受け入れを増やすため、乳児や幼児の定員の見直し

趣旨の通達があり、導入に向けた様式等を検討していた。今年行われる本市の市長選挙、市議会議員選挙から実施する考えである。

問 本市からの転出が多く、またトヨタ系企業の工場が進出して

問 大府市・東浦町における、健康長寿の一大交流拠点の創設を目指す「ウェルネスバレー計画」を視野に入れ、大府市との形成協定についてどう考えるか。

答 定住自立圏構想における周辺市町村の規定はないので大府市との形成協定は可能だが、まずは知立市、高浜市、東浦町との連携を進めていきたい。

問 今後の対策として保育士などの資格を持つ人が自宅などで乳幼児を預かる保育ママ制度や認可外保育所に通う親への保育料を助成することも有効な対策と考えられるが、23年度に実際にどのような対策を予定しているのか。

答 現在、全幼稚園で預かり保育を実施しており、保護者の病気、出産、介護などの理由で保育時間終了後から午後4時まで行っているが、23年9月から3園程度で利用条件に就労を加え、保育園を希望する方の中で幼稚園への選択肢も広げ、保育園での幼児と乳児の定員枠を広げられるように考えていきたい。



神谷 昌宏 議員（一問一答方式）
JR逢妻駅へのエレベーター設置
 — 要件の改正があれば速やかに対応できるように協議していく —

問 「全国の駅700増バ

問 「全国の駅700増バリアフリー目標アップ」の見出しで、エレベーターを設置する公共交通施設をこれまでの1日の利用者5千人以上から3千人以上に引き下げる方針を政府が固めたとの報道があった。これにより逢妻駅へも設置が可能になったと思うが、国やJRからの情報は何かあるのか。また今後の予定はどうなっているのか。

答 現在の基本方針では、1日の利用者が5千人以上の駅について平成22年度までのバリアフリー化を進める。

森田 健資 議員（一問一答方式）
学校図書館に新聞を置く考えは
 — 先生と生徒が一緒に新聞に親しむ機会を工夫する —

問 世界65カ国の15歳を対象にした学習到達度調査は、3年前と比べてどうであったか。

答 読解力、数学的リテラシー、科学的リテラシーの3分野でいずれも上昇している。

問 読解力が特に上昇しているが、どのような理由か。

答 朝の読書を行う学校が増え、読解力と想像力が育ったからだと推測される。

問 生きた教材と言われる新聞を学校の図書館に置いて先生と生徒と一緒に読むようにしてはどうか。

答 先生が図書館で新聞を読むと児童生徒も図書館に足を運び、新聞に親しむよい機会になると思われるので、この機会をもたちの育成を目指す。

加藤 賢次 議員（一問一答方式）
職員にエコ通勤を奨励するための考えはあるか
 — 社会情勢の変化に沿った対応をしていく —

問 職員の自家用車及び公共交通機関による通勤状況はどうなっているか。また職員用の駐

答 車場の何台分確保しているのか。車での通勤が713人、公共交通機関が77人である。

また、駐車場として506台分確保している。

問 交通事故、環境等の観点から職員の通勤方法について指導、啓発をおこなっているか。

答 自宅近辺に公共交通機関の駅、バス停が無い職員もいるため、すべての職員に公共交通機関の利用を指導することは難しいと考えている。

前田 秀文 議員（一括質問一括答弁方式）
刈谷市の農業は刈谷市が守るといふ姿勢を
 — 補助事業の新設・拡充を行っていく —

問 エコ通勤する職員に対し

問 農業政策が重要な時代となっているが、農業振興に対する本市の取り組みと補助実績はどのようなになっているか。

答 地域農業の発展を目的として、農業近代化施設等整備事業を初めとする「地域、団体、担い手育成」に関する補助、良質米生産推進事業を初めとする「農産物の栽培振興」に関する補助、畜産環境整備特別対策事業を初めとする「畜産」に関する補助の計16事業を実施している。平成21年度は総額で約2千

星野 雅春 議員（一括質問一括答弁方式）
自殺対策の充実に向けた今後の取り組み
 — 精神的に悩んでいる人と相談機関をつなぐゲートキーパーの育成 —

問 市内の自殺者数はここ数年20人を超えているが、どのような対策をとってきたのか。

答 保健所において医師や精神科病院、消防署、警察などの関係職員を対象に自殺対策地域推進研修会を行っており、そこに市職員も参加している。本市においても地域ボランティアの保健推進員や食生活改善推進員に対して心の健康知識普及の研修などに取り組んでいる。

問 今後の取り組みをどのように考えているか。

答 国の考え方においても自殺の実態は、未だ明らかになっていない部分も多く自殺対策に直ちに効果を発揮するものは解明できていない状況である。現段階では精神的に悩んでいる人たちと医師や相談機関をつなぐ役割を持つゲートキーパー的なノウハウを研修し習得していくことが大切であると考えている。今後、県や保健所などの研修でゲートキーパーとしての資質を養う研修等があれば職員の参加も考えている。

